



会員紹介

こんにちは！もうすぐ喜寿です！！

安藤 美知子

地球冒険学校事務局の M 先生ご夫妻とは都立盲学校、都立障がい児学校で30年ほど前に知り合いました。地球冒険学校で次男とオーストラリアに行けたことは最大の思い出です。

私の最初の赴任校は江東区の中学校でした。そのあと八王子の中学校に転勤した後、次男が生まれ、ダウン症とわかりました。44年前は医学書を見ると「白痴、愚鈍、精神薄弱」と書いてあって絶望しました。この子を殺すか、心中するかと団地の部屋の白い壁を見ながら毎日泣いて暮らしたこともありましたが、ダウン症の親の会（当時こやぎの会、現在日本ダウン症協会）に連絡し、「1年間ゆっくり大切に育てなさい」と言われました。八王子の会員を紹介され、成長したダウン症の方をみて、笑顔の息子に育てる決心をしました。

その後、同じ障害の子どもをもつお母さんたちとグループを作り、障がい児の学童・作業所・グループホーム作りに、市との交渉など息つく暇もなくがんばってきました。その陰には M 先生ご夫妻をはじめとするたくさんの方たちの協力と叱咤激励がありました。

18年間中学校通常学級、19年間障がい児学校に勤務し、定年1年前に、NPO法人最初のグループホームが市に認可されたため退職しました。

現在は来年3月まで八王子市の知的障害者の相談員をしていますのでどうぞご相談ください。

☎080-5058-5631

多勢の方たちに助けられた恩返しを少しでもしたいと考え70代を生きています。

退職後、スウェーデン、デンマーク、フィンランドなどの福祉施設を視察し、社会を変えれば障害者、高齢者、子ども、若者、女性など弱者が生きやすい社会になることを学びました。そのための草の根の活動にも参加し、「微力だが無力ではない」と信じ、みなさんと手をつないでいきたい。



2007年地球冒険学校オーストラリア旅行でコアラを抱く